

# 今、何の病気が流行しているか！

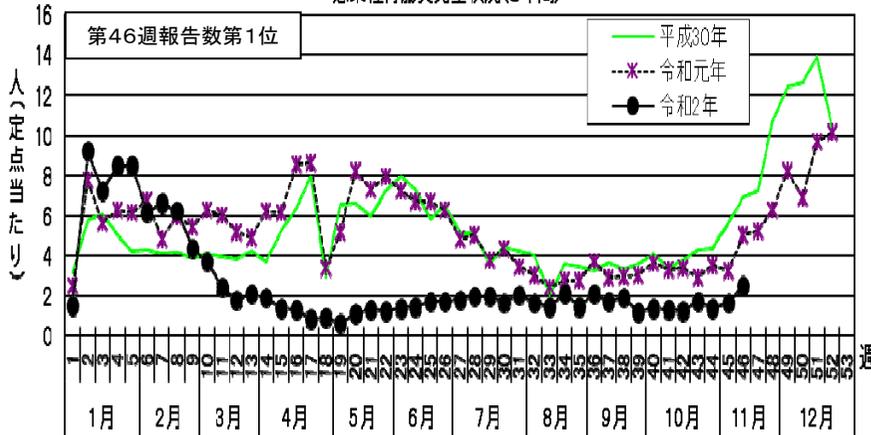
## 【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月9日（月）～令和2年11月15日（日）〔令和2年第46週〕の感染症発生状況

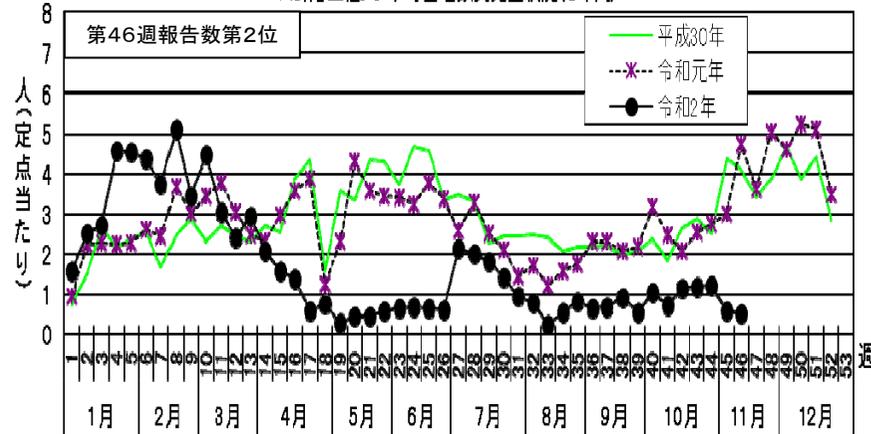
第46週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)突発性発しんでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.49人と前週（1.62人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.59人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.41人と前週（0.59人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 寒い時期の感染対策！～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における令和2年第46週（11月9日～11月15日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は188件と、これまで最多であった第32週（8月3日～8月9日）の151件を上回り、前週から急増しました。

11月に入り、今後は冬に向けて気温も下がります。これまでの基本的な感染防止対策だけでなく、寒い環境下での適切な換気や適度な保湿などの対策も併せて実施することが重要です。

### 寒い時期における感染防止対策等のポイント ～新型コロナウイルス感染症～

#### 基本的な感染防止対策

- マスクを着用
- 人と人の距離を確保（1mを目安）
- 「感染リスクが高まる5つの場面」を避ける
- 3密を避ける、大声を出さない



#### 【感染リスクが高まる5つの場面】



#### 適切な換気

- 機械換気による常時換気
  - 機械換気がない場合は、室温が下がらない範囲で常時窓を開ける
- \* 窓を少し開け、室温は18℃以上を目安

#### 適度な保湿

- \* 湿度40%以上を目安
- 換気しながら加湿
  - 加湿器の使用
  - 洗濯物の室内干し
- こまめな拭き掃除

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)

